

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場会社名 株式会社極楽湯 上場取引所 東
 コード番号 2340 URL http://www.gokurakuyu.ne.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新川 隆文
 問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 松本 俊二 (TEL) 03-5275-0580
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	6,935	24.1	202	—	251	—	180	—
27年3月期第2四半期	5,588	15.9	△93	—	△137	—	△100	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 274百万円(—%) 27年3月期第2四半期 △289百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	14.07	12.61
27年3月期第2四半期	△8.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	16,865	6,267	29.0
27年3月期	16,385	6,020	28.8

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 4,896百万円 27年3月期 4,723百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,700	13.7	320	71.2	310	51.7	140	25.9	10.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 一社 、 除外 一社(社名) 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	13,820,800株	27年3月期	13,670,900株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	917,675株	27年3月期	917,675株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	12,815,788株	27年3月期2Q	11,791,591株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に、全体としては緩やかな回復基調が見られました。一方で、中国の経済成長鈍化等、海外の景気がわが国の景気に影響を与える懸念もあり、株価や為替が不安定な状況で推移しました。

温浴業界におきましては、消費者の節約志向や低価格志向が引き続きみられる一方で、「安・近・短」の手軽なレジャーとしてのニーズは底堅いものがあります。しかしながら、原材料をはじめとする諸コストの増大など厳しい経営環境が続いております。更に、東京オリンピック開催を控え建設費は高止まりしており、顧客満足度向上のための改装・改築を含む各種設備投資にかかるコストも増大傾向にあります。お客様の多様なニーズに対応できる企業としての総合力がより一層求められております。

このような状況の中、当社グループは、海外2号店となる「極楽湯 金沙江温泉館」(中国上海市)を今年2月にオープンいたしました。また、国内では経営資源の有効活用や活性化並びに生産性の向上を図るべく、店舗の譲渡や増改築、人事制度改革等を実施いたしました。まさに、お客様のニーズの変化をいち早く感じとり迅速に対応できる企業として、総合力を強く意識したうえで、より一層の安心・安全そして高品質なサービスを提供することに取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,935百万円(前年同期比24.1%増)、営業利益は202百万円(前年同期営業損失93百万円)、経常利益は251百万円(前年同期経常損失137百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は180百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失100百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

① 日本

当セグメントにおきましては、売上高5,282百万円(前年同期比10.0%増)、セグメント利益(営業利益)は177百万円(前年同期セグメント損失139百万円)となりました。

当社の業績は、家族や人が集まるお盆や年末年始等の休暇に加え、台風・ゲリラ豪雨・猛暑・大雪等、季節的要因により変動する傾向があります。第2四半期(7月～9月)につきましては、前年同期に比べると天候や気温等の影響は限定的でありました。

また、昨年8月に新規オープンした「RAKU SPA鶴見」(神奈川県)や昨年10月に直営化した「浜松佐鳴台店」(静岡県)の売上が寄与したことに加え、効果的な施策を積極的に実施したことで既存店の集客増そして売上回復につながったことから、前年同期と比較して売上高は増加し、利益は大幅に改善いたしました。

② 中国

当セグメントにおきましては、売上高1,684百万円(前年同期比111.3%増)、セグメント利益(営業利益)は96百万円(前年同期比25.2%減)となりました。

当社グループの中国における業績も国内と同様に季節的要因による変動があり、気温が上昇する第2四半期(4月～6月)の業績は通期でみると比較的厳しい時期(閑散期)と言えます。

当第2四半期は、今年2月にオープンした海外2号店「極楽湯 金沙江温泉館」(中国上海市)が1号店との相乗効果もありオープン当初より大盛況となったことから売上は大幅に増加いたしました。一方で、平年よりも早い気温上昇により集客に苦戦したことに加え、更なる顧客満足度を高めるべく1号店の改装や修繕を実施したことや人件費や物価の上昇等の影響により費用が増加した結果、第2四半期の累計期間(1月～6月)のセグメント利益(営業利益)は、96百万円と前年同期と比較して減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ479百万円増加し16,865百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が1,570百万円、工具、器具及び備品が204百万円増加し、建設仮勘定が1,166百万円減少したことによるものであります。

次に、負債合計は、前連結会計年度末に比べ232百万円増加し10,597百万円となりました。これは主に、長期借入金が258百万円減少しているものの、短期借入金が300百万円増加し、また、未払金が168百万円増加したことによるものであります。

最後に、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ246百万円増加し6,267百万円となりました。これは主に、利益

剰余金が180百万円増加したことによるものであります。また、自己資本比率につきましては、29.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、当初の計画通り順調に推移しております。しかしながら、国内外ともに季節的変動による収益減少の懸念があること。加えて、中国においては更なる景気の減速や地政学的リスク等の不透明な要素があること、国内においては今後も既存店の改装計画等があることから、平成27年5月15日の決算短信で発表しました業績予想に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結の範囲の変更を伴わない子
会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記
載し、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得又
は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載す
る方法に変更を行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,932,834	3,697,040
売掛金	132,953	128,167
未収入金	6,370	1,067
たな卸資産	64,211	68,816
繰延税金資産	38,595	27,740
その他	162,489	254,184
流動資産合計	4,337,454	4,177,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,868,208	9,438,794
工具、器具及び備品(純額)	427,105	631,820
土地	182,051	182,051
リース資産(純額)	1,217	-
建設仮勘定	1,172,060	5,909
有形固定資産合計	9,650,643	10,258,575
無形固定資産	217,386	281,115
投資その他の資産		
投資有価証券	28,740	29,125
長期貸付金	78,073	68,961
繰延税金資産	481,220	483,897
敷金及び保証金	871,260	851,545
その他	633,963	601,711
貸倒引当金	△4,500	△4,500
投資その他の資産合計	2,088,757	2,030,741
固定資産合計	11,956,787	12,570,431
繰延資産	91,385	117,561
資産合計	16,385,627	16,865,010

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	365,791	289,379
短期借入金	200,000	500,000
1年内償還予定の社債	115,400	82,000
1年内返済予定の長期借入金	2,034,328	1,822,384
未払金	386,691	555,523
未払法人税等	127,617	101,677
前受金	908,670	1,161,892
賞与引当金	72,254	43,151
その他	375,184	460,509
流動負債合計	4,585,937	5,016,518
固定負債		
社債	227,500	203,000
長期借入金	4,690,690	4,432,332
退職給付に係る負債	96,550	99,520
資産除去債務	478,013	454,906
その他	286,439	391,672
固定負債合計	5,779,193	5,581,431
負債合計	10,365,131	10,597,949
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,350,759	2,371,156
資本剰余金	2,396,797	2,340,675
利益剰余金	45,266	225,638
自己株式	△356,138	△356,138
株主資本合計	4,436,684	4,581,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,209	△824
為替換算調整勘定	287,832	316,241
その他の包括利益累計額合計	286,622	315,416
新株予約権	52,049	59,929
非支配株主持分	1,245,139	1,310,382
純資産合計	6,020,496	6,267,060
負債純資産合計	16,385,627	16,865,010

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,588,579	6,935,580
売上原価	5,189,736	6,165,536
売上総利益	398,842	770,043
販売費及び一般管理費	492,575	567,762
営業利益又は営業損失(△)	△93,732	202,280
営業外収益		
受取利息	8,462	7,940
受取家賃	9,446	9,774
為替差益	-	40,269
協賛金収入	18,518	39,092
その他	17,110	21,333
営業外収益合計	53,538	118,409
営業外費用		
支払利息	49,148	51,690
為替差損	38,376	-
その他	9,585	17,520
営業外費用合計	97,110	69,211
経常利益又は経常損失(△)	△137,305	251,478
特別利益		
固定資産売却益	-	77,362
資産除去債務戻入益	-	22,163
新株予約権戻入益	4,658	3,431
子会社株式売却益	147,920	-
人事制度変更に伴う利益	-	22,602
その他	-	210
特別利益合計	152,579	125,769
特別損失		
固定資産除却損	1,186	5,528
契約解約損	-	3,950
特別損失合計	1,186	9,479
税金等調整前四半期純利益	14,087	367,767
法人税、住民税及び事業税	45,547	141,059
法人税等調整額	68,580	8,388
法人税等合計	114,127	149,447
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△100,040	218,320
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	37,948
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△100,040	180,371

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△100,040	218,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△125	385
為替換算調整勘定	△188,953	55,703
その他の包括利益合計	△189,078	56,088
四半期包括利益	△289,118	274,409
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△289,118	209,165
非支配株主に係る四半期包括利益	-	65,243

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,087	367,767
減価償却費	373,490	475,127
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,177	2,970
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,759	△29,409
受取利息及び受取配当金	△9,547	△9,130
子会社株式売却損益(△は益)	△147,920	-
新株予約権戻入益	△4,658	△3,431
支払利息及び社債利息	53,106	54,999
為替差損益(△は益)	34,554	△29,091
固定資産除売却損益(△は益)	1,186	△71,834
資産除去債務戻入益(△は益)	-	△22,163
売上債権の増減額(△は増加)	△76,646	245,455
たな卸資産の増減額(△は増加)	△32,613	△4,327
未払消費税等の増減額(△は減少)	64,514	73,345
仕入債務の増減額(△は減少)	△35,687	△77,560
建設協力金の賃料相殺	15,324	18,654
その他	△25,273	△18,433
小計	235,854	972,939
利息及び配当金の受取額	6,545	6,049
利息の支払額	△49,968	△52,715
法人税等の支払額	△36,078	△162,322
法人税等の還付額	66,531	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	222,885	763,950
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△341,798	△359,022
定期預金の払戻による収入	259,408	176,043
有形固定資産の取得による支出	△2,040,395	△927,152
有形固定資産の売却による収入	-	200,000
差入保証金の差入による支出	△70,537	△2,752
差入保証金の回収による収入	752	23,961
貸付けによる支出	△352,026	-
貸付金の回収による収入	360,064	9,111
建設協力金の支払による支出	△67,321	-
建設協力金の回収による収入	5,775	5,775
子会社株式の売却による収入	933,215	-
その他	△18,647	△13,460
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,331,512	△887,496

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	300,000
社債の償還による支出	△57,900	△57,900
長期借入れによる収入	1,550,000	750,000
長期借入金の返済による支出	△1,050,984	△1,220,214
割賦債務の返済による支出	-	△50,016
株式の発行による収入	411,084	37,637
配当金の支払額	△64,600	△75,985
その他	△58,654	△1,446
財務活動によるキャッシュ・フロー	828,946	△317,925
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,834	16,732
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△295,516	△424,739
現金及び現金同等物の期首残高	3,815,094	3,824,900
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,519,577	3,400,160

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,791,507	797,072	5,588,579	—	5,588,579
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,201	—	13,201	△13,201	—
計	4,804,708	797,072	5,601,780	△13,201	5,588,579
セグメント利益又は損失(△)	△139,108	128,717	△10,390	△83,342	△93,732

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△83,342千円は、セグメント間取引消去10,705千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△94,047千円であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 報告セグメント「中国」の連結子会社の決算日は12月31日であるため、当第2四半期連結累計期間には、平成26年1月1日から平成26年6月30日までの業績が反映されております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,251,111	1,684,469	6,935,580	—	6,935,580
セグメント間の内部売上高又は振替高	31,466	—	31,466	△31,466	—
計	5,282,577	1,684,469	6,967,046	△31,466	6,935,580
セグメント利益	177,493	96,338	273,832	△71,551	202,280

(注) 1 セグメント利益の調整額△71,551千円は、セグメント間取引消去19,621千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△91,172千円であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメント「中国」の連結子会社の決算日は12月31日であるため、当第2四半期連結累計期間には、平成27年1月1日から平成27年6月30日までの業績が反映されております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

海外3号店(武漢)の出店及び子会社設立について

当社は、平成27年10月13日開催の取締役会において、海外3号店(武漢)の出店及び当該店舗の出店準備及び運営を行なう子会社を設立することについて決議いたしました。

(1) 目的

中国での事業展開を更に進めるべく、この度中国武漢市への出店を決定するに至りました。

それに伴い、3号店の出店準備及び運営を円滑に進めることを目的として子会社を中国武漢市に新設する予定です。

(2) 店舗概要(予定)

1. 店 舗 名 : 未定
2. 所 在 地 : 中国湖北省武漢市東西湖区
3. 出店形態 : 直営
4. 店舗面積 : 約9,000㎡
5. 開業予定 : 平成28年夏

(3) 子会社概要(予定)

1. 商 号 : 極楽湯(武漢)沐浴有限公司
2. 所 在 地 : 中国湖北省武漢市東西湖区
3. 代 表 者 : 董事長 新川 隆丈 ※当社代表取締役
4. 事業内容 : 温浴施設の運営・管理
5. 設立時期 : 平成27年12月
6. 資 本 金 : 8億5千万円
7. 出資比率 : 当社51%出資